KAONAVI CAMPUS
カオナビキャンパス

プロファイルブック
単一 / 複数チェックリスト

研修 / 資格 / スキル / 家族 / 休職 / 残業 / 過去評価

活用シーン別に「単一レコード」「複数レコード」の選択基準をまとめた資料です。
プロファイルブックのシート構成を決定するためにご活用ください。



© kaonavi, inc.

最終更新日： 2025/10/27

01

研修管理

© kaonavi, inc.

研修管理

☑️ チェック項目	◯ 単一レコード	◯ 複数レコード
未受講者を絞り込みたいか?	◯ 受講・未受講の選択肢を設ければ可能（受講済のみ表示は不可）	× 対応不可
受講状況をグラフ・シャッフルフェイスで可視化したいか?	◯ 受講・未受講の選択肢を設ければ可能	×
別システムのデータを管理者側で登録するか?	◯ 一人一行でない場合は加工が必要	◯ 一人複数行でない場合は加工が必要
ワークフローで受講申請させプロファイルブックに連携したいか?	× 前回申請分も含めて申請が必要なため	◯
プロファイルブックに直接入力させたいか?	◯	◯ 研修名を選択肢にする場合、数が多い場合はシート分割を推奨

TIPS　必須研修は単一、自由研修は複数での合わせ技が有効。単一形式では受講済のみ表示ができない点に注意。

© kaonavi, inc.

02

資格管理

© kaonavi, inc.

資格管理

☑️ チェック項目	◯ 単一レコード	◯ 複数レコード
未取得者を絞り込みたいか?	◯ ①取得・未取得の選択肢、または②資格名チェック方式で対応可能	×
取得状況をグラフ・シャッフルフェイスで可視化したいか?	◯	×
別システムのデータを管理者側で登録するか?	◯ 一人一行でない場合は加工が必要	◯ 一人複数行でない場合は加工が必要
ワークフローで取得申請させプロファイルブックに連携したいか?	× 前回申請分も含めて申請が必要なため	◯
プロファイルブックに直接入力させたいか?	◯	◯ 資格名を選択肢にする場合、数が多い場合はシート分割を推奨

TIPS　必須取得資格は単一、任意取得は複数での合わせ技も有効。単一形式では取得資格のみ表示ができない点に注意。

© kaonavi, inc.

03

スキル管理

© kaonavi, inc.

スキル管理

☑️ チェック項目	◯ 単一レコード	◯ 複数レコード
スキルレベルの全体状況をグラフ・シャッフルフェイスで可視化したいか?	○	×

TIPS　スキルは項目数が多くなりがちなため通常は単一レコードで管理。過去との比較が必要な場合のみ複数を検討。

© kaonavi, inc.

04

家族情報

© kaonavi, inc.

家族情報

☑️ チェック項目	◯ 単一レコード	◯ 複数レコード
ワークフローでの申請を前提とするか?	× 前回申請分も含めて申請が必要なため	◯ 変更・削除は CSV 対応。新規追加と変更・削除フォームを分ける必要あり

TIPS　家族情報は人によって件数が異なるため一般的には複数レコードでの管理が適しています。

© kaonavi, inc.

05

休職情報

© kaonavi, inc.

休職情報

☑️ チェック項目	◯ 単一レコード	◯ 複数レコード
複数回の休職期間を合計・勤続年数から除いた期間を算出したいか?	◯	× レコードをまたいだ計算はできないため
誰がいつからいつまで休職したかが分かれば良いか?	×	◯

© kaonavi, inc.

06

残業時間

© kaonavi, inc.

残業時間

☑️ チェック項目	◯ 単一レコード	◯ 複数レコード
カスタムガジェットで部単位の残業時間平均値をグラフ化したいか?	◯	×
月ごとの残業時間も確認したいか?	◯（シートの作りは異なる）	◯ サマリーを活用
半年・一年の合計や平均の残業時間を計算したいか?	◯	◯ サマリーを活用

TIPS　時点を指定した組織単位の可視化・集計は単一レコードがおすすめ。複数でも個人単位のサマリー集計は可能。

© kaonavi, inc.

07

評価情報

© kaonavi, inc.

過去の評価データ

☑️ チェック項目	○ 単一レコード	○ 複数レコード
評価分布をグラフ・シャッフルフェイスで可視化したいか?	○	×
「3 年連続 S 評価」など複数年の結果で AND 検索をしたいか?	○	×
個人の評価推移を 1 シートで確認したいか?	○（可能だがデータ更新は手間がかかる）	○

TIPS　評価は年 2 回程度の更新。単年度ごとに単一シートを作りつつ、推移確認用に複数も作る二重管理ケースもあり。

© kaonavi, inc.

まとめ ― 単一 vs 複数 レコード選択の判断基準

研修・資格管理	未受講 / 未取得の絞り込み・グラフ可視化が必要 → 単一　ワークフロー申請連携が必要 → 複数
スキル管理	基本は単一レコード。過去との比較が必要な場合のみ複数も検討
家族情報	人によって件数が異なるため基本は複数レコード推奨
休職情報	期間合計・勤続計算が必要 → 単一　履歴の把握だけ → 複数
残業時間	組織単位の可視化・時点指定 → 単一　個人の月次サマリー → 複数
評価データ	分布可視化・ AND 検索が必要 → 単一　個人の推移確認 → 複数（または二重管理）

© kaonavi, inc.